

12/9 毎日

高齢者2割負担 政府・与党協議

首相強気じり立つ公明



政府与党政策懇談会を終え、記者団の質問に答える公明党の山口那津男代表=首相官邸で8日、竹内幹撮影

公明党の山口那津男代表は8日、75歳以上の医療費負担を一割から2割に引き上げる対象範囲を巡る政府・与党協議が難航していることについて、「政府側がどう我々の問題提起に対して考え方を示すのが見えないのが進展しない要因だ」と述べた。与党代表による政府批判は異例で、交渉の余地を示さない菅義偉首相へのいら立ちをあらわにした。首相の強気の姿勢には公明党との折衝を担当する民進党も頭を抱えていた。

首相官邸で首相も同席する政府与党政策懇談会を終えた後に記者団に述べた。公明党は当初、交渉自体を来年に先送りするよう求めていたが、首相が厚生労働省作成の5案のうち対象者が2番目に多い「年収170万円以上案」を強く推していると伝わる。最も対象者が少ない「240万円以上案」なら容認可能だと姿勢に転換していた。

7日には山口氏が「かたくなにそれ(240万円以上案)にこだわっていることは必ずしもない」と更なる軟化の余地を示した。しかし8日ど山口氏は

医療費負担2割となる75歳以上の高齢者の年収や人数の5案

年収(75歳以上)	対象人数	公的医療保険の給付削減額
240万円以上	200万人(20%)	1240億円
220万円以上	285万人(25%)	1750億円
200万円以上	370万人(30%)	2290億円
170万円以上	520万人(38%)	3200億円
155万円以上	605万人(44%)	3740億円

電話が「因だ」と指摘した。7日の軟化発言は対象者が2番目に少ない「240万円以上案」までの譲歩を示唆したものとみられるが、菅義偉首相が公明党側に「首相案」での譲歩を求めてきたという。「山口氏は『交渉は可能だ、と秋波を送ったではないか。なんでまだかたくなことを言っているんだ』という心境だろう」と民主党議員は察してみせた。

75歳以上の患者の自己負担分を除く医療費は、公費で約5割、現役世代の負担で4割、75歳以上の保険料で1割が賄われている。首相は4日の記者会見で「幅広く負担できる方を増やすことで、将来の若い世代の負担を少しでも減らしていくのが大事だ」と述べ、現役世代の負担抑制を重視す

70万円以上案」かという具体的な説明はしていない。自民党も公明党との交渉で「首相の意向」だと繰り返すばかりだという。衆院選や東京都議選が1年以内に控える中、有権者との負担増は極力回避したいというのが自公の本音。自民党政調幹部は「首相が『政

府案を動かす余地がある』と言わないと交渉にならない」と語った。加藤勝信官房長官は8日の記者会見で「まさに今、政府・与党において最終的な調整を行っている。最終的な合意の形成に向け、しっかりと協議を深めていきたい」と述べた。

【立野将弘、横田愛、佐藤慶】